

## 豊田直二教授のご退職によせて

熊本学園大学 学長 細 江 守 紀

豊田直二先生は、1974年3月に茨城大学理学部生物学科をご卒業後、千葉大学大学院理学研究科修士課程生物学専攻に進学され、1981年3月に千葉大学大学院医学研究科博士課程生理系解剖学を修了し、医学博士の学位を授与されています。

日本学術振興会奨励研究員を経て、1982年2月より財団法人東京都精神医学総合研究所研究員としてお務めになり、その間米国コーネル大学医学部にポストドクトラルフェローとして留学をなさっています。その後、1986年9月に千葉大学医学部解剖学第一講座に助手として入局され、1988年千葉大学医学部解剖学第一講座講師、2001年4月より千葉大学大学院医学研究院環境生命医学講座講師としてお務めになりました。

本学には2002年4月に社会福祉学部第一部福祉環境学科教授として着任され、2008年には第二部社会福祉学科にご所属頂き、2009年4月の社会福祉学部第一部ライフ・ウェルネス学科新設に伴い、以後、ライフ・ウェルネス学科にてご指導を賜りました。2014年4月から2016年3月まではライフ・ウェルネス学科長としてご活躍くださり、本学の発展にご貢献頂きました。

本学は社会科学系の大学であるため、自然科学系の研究設備は十分なご用意ができませんでしたが、先生は研究室に培養装置を設置、空調を整備されて細胞発生に関する研究を続けられました。若手の教員らと生理学の研究グループを組み、リーダーとして研究成果を上げておられます。

授業では教養科目の「生物学」など受講生も多いのですが、細胞の観察ができるようにと顕微鏡を揃えることに尽力され、付属高校のお下がり？も活用されて授業に臨まれました。

先生は温厚なお人柄であり、人懐っこい笑顔で学生たちの人気も多く集めました。また、実直に学内業務も進められ、この『論集総合科学』についても、長く編集委員長、委員を務めてくださいました。

長年にわたって本学の発展にご貢献いただいた豊田直二先生は、2021年3月をもってご退職となりました。先生の残された財産を大切に活かして、地域においてさらに輝く大学へと発展させていくことが後進としての私たちの役目です。

豊田直二先生の今後のご健勝とご活躍を心より願ってご挨拶に代えさせていただきます。